

平成 28 年度 財務計算書類の概要

財務計算書類については、学校法人会計基準の一部改正により、平成 27 年度から計算書類の表示方法や名称等が一般にわかりやすく、また、経営判断に一層資する形式に変更となった。平成 28 年度の財務計算書類は、引き続き、本改正等に基づき作成されたものである。

なお、人件費支出及び管理経費支出の 2 つの大科目で、予算額を超過したことから、予備費を使用したところであるが、収支均衡の状態を表す事業活動収支計算書の当年度収支差額は収支均衡に近い値であり、望ましい状況となった。

概要については、次のとおりであり、計算書類ごとの概要説明は次ページ以降のとおりである。

1 収入について

主な事項として、高等学校の入学者数が予算編成時の想定(315 人)を上回る 529 人となったことに伴い学生生徒等納付金収入が増額したこと、私立大学等改革総合支援事業及び私立大学研究ブランディング事業が選定されたことに伴い国庫補助金収入が増額したこと、故古泉 巖名誉教授の御遺族から古泉基金(平成 27 年度創設)に 10 百万円の寄付があったことが挙げられる。

2 支出について

主な事項として、キャンパスマスタープラン第Ⅲ期に基づき豚舎及び更衣室棟建築工事を実施したこと、獣医学科参加型臨床実習に係る 7 号館 1 階改修工事及び機器整備を実施したこと、食品生命科学科食品加工学・保蔵科学実習に係る 8 号館 2 階実習室改修工事及び機器整備を実施したこと、平成 27 年度に引き続き、創立 125 周年記念募金について、寄付者の銘板設置やいのちの博物館及び高等学校等における備品等の整備を実施したことが挙げられる。また、光熱水費について、電気受給契約の見直し等により、平成 27 年度と比較して 43 百万円の経費節減となった。

また、ピッグ・リサーチセンターについては、平成 29 年 2 月 28 日開催の理事会・評議員会において承認を受けたキャンパスマスタープラン第Ⅲ期に基づき、平成 30 年度の実施に向け、平成 29 年度中にワーキンググループにおいて計画を検討することから、執行を見送っている。

なお、大科目において、予算額を超過した人件費支出及び管理経費支出については、平成 17 年 10 月理事会決議の「予算の流用及び予備費の使用について」及び学校法人麻布獣医学園経理規程第 55 条に基づき、人件費支出については 84 百万円、管理経費支出については 2 百万円の予備費を使用した。

1. 資金収支計算書

■資金収支計算書の解説

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びにその会計年度における支払資金のてん末を明らかにするものである。事業活動収支計算書が資金の収支を伴わない科目(減価償却額等)を含めた会計年度ごとの収支均衡の状態を把握することを目的とするのに対して、資金収支計算書は資金繰りの状況を把握することを目的としている。

■本学の概況

平成27年度からの繰越支払資金(前年度繰越支払資金)が38億17百万円であったのに対して、平成29年度への繰越支払資金(翌年度繰越支払資金)は40億81百万円であり、平成28年度においては全体として2億64百万円のプラスのキャッシュフローとなった。

〔収入の部〕

(単位:千円)

科 目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	差 異
1 学生生徒等 納付金収入	5,080,860	5,221,498	△ 140,638
2 手数料収入	188,000	177,050	10,950
3 寄付金収入	50,000	46,780	3,220
4 補助金収入	722,920	808,569	△ 85,649
5 資産売却収入	200,000	300,000	△ 100,000
6 付随事業・ 収益事業収入	435,000	481,612	△ 46,612
7 受取利息・ 配当金収入	21,320	22,947	△ 1,627
8 雑収入	140,170	151,988	△ 11,818
9 借入金等収入	0	0	0
10 前受金収入	872,040	934,920	△ 62,880
11 その他の収入	1,244,750	1,504,008	△ 259,258
12 資金収入 調整勘定	△ 986,620	△ 1,170,190	183,570
13 当年度収入合計	7,968,440	8,479,182	△ 510,742
14 前年度 繰越支払資金	3,817,452	3,817,452	0
収入の部合計	11,785,892	12,296,634	△ 510,742

【1 学生生徒等納付金収入】

高等学校の入学者増等に伴い、1億41百万円の増額となった。

【2 手数料収入】

大学、高等学校ともに予算積算人数を下回ったことに伴う入学検定料の減等により、11百万円の減となった。

【3 寄付金収入】

主な特別寄付金収入は次のとおりである。

- ・古泉基金 10百万円(平成27年度創設 10百万円)
- ・増井光子基金 2百万円(平成23年度創設 10百万円)
- ・奨学寄付金 25百万円
- ・父母会からの寄付金 7百万円

【4 補助金収入】

国庫補助金が4億98百万円、地方公共団体補助金が3億8百万円であった。

【6 付随事業・収益事業収入】

附属事業収入(動物病院収入)は3億64百万円、受託事業収入は1億18百万円であった。

【8 雑収入】

私立大学退職金財団交付金収入91百万円は、自己都合による退職者2人を含む、大学教員4人及び事務職員3人分の交付金である。

【10 前受金収入】

平成29年度の大学入学人数及び高等学校の併願による一時金納入人数が予算積算人数を上回るなど、全体で63百万円増となった。

【11 その他の収入】

主に、退職金、施設・設備の整備、奨学金貸与に支出される経費への充当及び定期預金の満期切替えによる特定資産の取崩し収入である。

なお、退職給与引当特定資産の満期継続に当たり、より利率の高い銀行への預け替えを実施したことや、有価証券の早期償還に伴う施設設備引当特定資産の取崩しにより、2億59百万円増となった。

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	差 異
1 人 件 費 支 出	3,137,024	3,137,024	0
2 教 育 研 究 経 費 支 出	1,817,380	1,693,456	123,924
3 管 理 経 費 支 出	536,715	536,715	0
4 借 入 金 等 利 息 支 出	29,000	28,913	87
5 借 入 金 等 返 済 支 出	111,110	111,110	0
6 施 設 関 係 支 出	375,120	211,308	163,812
7 設 備 関 係 支 出	529,310	374,596	154,714
8 資 産 運 用 支 出	1,914,400	2,177,386	△ 262,986
9 そ の 他 の 支 出	493,620	538,710	△ 45,090
10 予 備 費	63,711	0	63,711
11 資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 487,310	△ 593,584	106,274
12 当 年 度 支 出 合 計	8,520,080	8,215,634	304,446
13 翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	3,265,812	4,081,000	△ 815,188
支 出 の 部 合 計	11,785,892	12,296,634	△ 510,742

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

【1 人件費支出】

教員人件費21億94百万円、職員人件費8億2百万円であった。また、退職金支出は自己都合による退職者2人を含む、大学教員4人及び事務職員3人に対する退職金である。

【2 教育研究経費支出】

教育・研究等の活動に要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費支出である。部門別には、大学12億3百万円、高等学校1億17百万円、生物科学総合研究所1億12百万円、動物病院2億61百万円であった。

【3 管理経費支出】

法人業務・管理業務に要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費支出である。部門別には、法人66百万円、大学4億14百万円、高等学校32百万円、生物科学総合研究所1百万円、動物病院24百万円であった。

【4 借入金等利息支出】

生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する借入金利息である。なお、国庫補助金として、借入利息に対する利子助成21百万円があった。

【5 借入金等返済支出】

生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する第4回目の元金返済である。(全18回)

【6 施設関係支出】

主な施設関係支出は次のとおりである。
 ・豚舎建替工事(周辺整備含む) 1億62百万円
 ・臨床センター空調更新工事 15百万円
 ・8号館2階実習室改修工事 14百万円
 なお、ヒックリサーチセンターについては、平成29年2月28日開催の理事会・評議委員会において承認を受けたキャンパスマスタープラン第Ⅲ期に基づき、平成30年度の実施に向け、平成29年度中にワーキンググループにおいて計画を検討することから、執行を見送っている。

【7 設備関係支出】

主な設備関係支出は次のとおりである。
 ・基幹事務システム(キャンパスプラン) 31百万円
 ・8号館2階実習室機器備品 19百万円
 ・動物病院システム機器備品 18百万円
 ・豚舎関連機器備品 18百万円
 ・動物病院高圧蒸気滅菌器 12百万円

【8 資産運用支出】

主な資産運用支出は次のとおりである。
 ・有価証券購入支出 5億円
 ・退職給与引当特定資産繰入支出 6億50百万円
 ・施設設備引当特定資産繰入支出 7億円
 ・減価償却引当特定資産繰入支出 3億円

1-2. 活動区分資金収支計算書

■活動区分資金収支計算書の解説

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当する計算書で、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」及び「その他の活動」の3つの活動に区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにすることを目的としたものである。文部科学省公表の財務分析では、「教育活動」である程度のプラスが出ないと、施設整備等に資金を回すことができず、借入金の返済もできないとして、「教育活動」でどのくらいキャッシュが生み出せているかが重要としている。

(財務分析の視点例)

区分	通常	施設整備時	経営困難
教育活動	+	+	-
施設整備等活動	-(小)	-	-(小)
その他の活動	+(小), -	+, -(小)	-

■本学の概況

教育活動資金収支差額において、収入額が支出額を上回っていることから、「教育活動」においてキャッシュフローベースの採算が確保できていることがわかる。なお、文部科学省公表の財務分析の視点によると、上表の「通常」又は「施設整備時」の区分に該当することがわかる。

(単位:千円)

教育活動による資金収支	科目	金額
	教育活動資金収入計	6,860,269
	教育活動資金支出計	5,367,195
	差引	1,493,074
	調整勘定等	△ 17,717
	教育活動資金収支差額(A)	1,475,357
施設整備等活動による資金収支	科目	金額
	施設整備等活動資金収入計	826,866
	施設整備等活動資金支出計	1,585,904
	差引	△ 759,038
	調整勘定等	40,880
	施設整備等活動資金収支差額(B)	△ 718,158
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		757,199
その他の活動による資金収支	科目	金額
	その他の活動資金収入計	854,359
	その他の活動資金支出計	1,346,359
	差引	△ 492,000
	調整勘定等	△ 1,651
	その他の活動資金収支差額(C)	△ 493,651
支払資金の増減額(小計+その他の活動収支差額)		263,548
前年度繰越支払資金		3,817,452
翌年度繰越支払資金		4,081,000

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

■教育活動による資金収支について

キャッシュベースでの教育活動の収支状況を把握することができる。教育活動資金収入に該当するものは、学生生徒等納付金収入、手数料収入、施設設備拡充目的以外の特別(一般)寄付金収入や経常費等補助金収入などである。教育活動資金支出に該当するものは、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などである。

平成28年度の教育活動資金収支差額(A)は、14億75百万円となっており、資金確保ができています。

■施設整備等活動による資金収支について

当年度の施設・設備の取得状況及びその財源、引当特定資産への繰入状況等を把握することができる。施設整備等活動資金収入に該当するものは、施設設備寄付金(補助金)収入、施設設備売却収入である。施設整備等活動支出に該当するものは、施設(設備)関係支出などである。

平成28年度の施設整備等活動資金収支差額(B)は、豚舎建替工事等の施設関係支出・設備関係支出があったことから、7億18百万円の支出超過となった。

■その他の活動による資金収支について

主に資金調達・資金運用などの財務活動を表し、元本及び利息等の動向を把握することができる。その他の活動資金収入に該当するものは、有価証券売却収入、引当特定資産取崩収入、受取利息・配当金収入である。その他の活動資金支出に該当するものは、借入金等返済支出、有価証券購入支出、引当特定資産繰入支出などである。

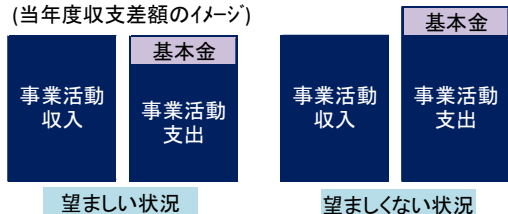
平成28年度のその他の活動資金収支差額(C)は、借入金等返済支出1億11百万円、将来の退職給与支出に向けた積立金6億50百万円等により、4億94百万円の支出超過となった。

2. 事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書の解説

企業会計における「損益計算書」に相当する計算書で、当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の内容及び収支均衡の状態を明らかにすることを目的としたものである。経常的な収支である「教育活動収支」「教育活動外収支」と臨時的な収支である「特別収支」の3つに区分され、その収支差額の合計(基本金組入前当年度収支差額)から、基本金に組み入れる額を差し引いたものが「当年度収支差額」であり、学校会計では長期的に収支均衡が求められている。文部科学省公表の財務分析では、全てプラスの「通常A」のほか、「教育活動収支」はマイナスでも大きな運用ファンドによる「教育活動外収支」の大幅なプラスにより「経常収支」がプラスな場合を「通常B」としている。一方で「教育活動収支」がプラスでも借入金等利息の大きな負担による「教育活動外収支」の大幅なマイナスにより「経常収支」がマイナスな場合を「経営困難B」としている。

(当年度収支差額のイメージ)



(財務分析の視点例)

区分	通常A	通常B	経営困難A	経営困難B
教育活動収支	+	-	-	+
教育活動外収支	+	+	+	-
経常収支	+	+	-	-

■本学の概況

「当年度収支差額」が収支均衡に近い値であり、望ましい状況であることがわかる。また、「教育活動収支」は収入額が支出額を3億41百万円上回っており、「教育活動外収支」は6百万円の支出超過で、結果として、「経常収支」は収入額が支出額を3億35百万円上回っており、文部科学省の財務分析の視点によると、「通常A」相当に該当することがわかる。

(単位:千円)

科目		平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	差異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	5,080,860	5,221,498	△ 140,638
		手数料	188,000	177,050	10,950
		寄付金	50,000	47,600	2,400
		経常費等補助金	690,880	781,703	△ 90,823
		付随事業収入	435,000	481,612	△ 46,612
		雑収入	140,170	151,844	△ 11,674
		教育活動収入計	6,584,910	6,861,307	△ 276,397
	支出の部	人件費	3,158,760	3,158,760	0
		教育研究経費	2,813,550	2,706,181	107,369
		管理経費	653,509	653,509	0
徴収不能額等		0	1,909	△ 1,909	
教育活動支出計		6,625,819	6,520,359	105,460	
教育活動収支差額		△ 40,909	340,948	△ 381,857	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	21,320	22,947	△ 1,627
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	21,320	22,947	△ 1,627
	支出の部	借入金等利息	29,000	28,913	87
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	29,000	28,913	87
		教育活動外収支差額	△ 7,680	△ 5,966	△ 1,714
	経常収支差額		△ 48,589	334,982	△ 383,571

■科目構成について

事業活動収支計算書の科目構成は、資金収支計算書の収入から、資金の動きだけを示す資産売却収入・前受金収入・その他の収入等、支出から、借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれ、事業活動収支の独自科目である退職給与引当金繰入額、減価償却額、現物寄付等が加わる。

【人件費】

人件費のうちの退職給与引当金繰入額は、教職員の退職の際に支払われるであろう金額のうち、今年度負担すべき金額を繰り入れるものである。

事業活動収支計算書の退職金は、退職者に支給される退職金(資金収支計算書退職金支出)から、退職者の退職給与引当金取崩額を差し引いた額である。

【教育研究経費】

減価償却額は、教育研究用の有形固定資産のうち、土地・図書を除く建物・構築物・教育研究用機器備品に係る10億11百万円を計上する。

【管理経費】

減価償却額は、法人業務・管理業務用の有形固定資産のうち、土地・図書を除く建物・構築物・管理用機器備品に係る1億17百万円を計上する。

【徴収不能額等】

大科目「徴収不能額等」の内訳である小科目「徴収不能引当金繰入額」とは、麻布大学奨学金及び麻布大学父母会奨学金の過年度未収入金額及び動物病院の診療収入における過年度未収入金額のうち、徴収不能になりうる金額を引当金として繰り入れるものである。

特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の収入	54,040	44,362	9,678
		特別収入計	54,040	44,362	9,678
	支出の部	資産処分差額	0	39,946	△ 39,946
		その他の支出	0	0	0
		特別支出計	0	39,946	△ 39,946
特別収支差額		54,040	4,416	49,624	
予備費		3,051	0	3,051	
基本金組入前 基当年度収支差額		2,400	339,398	△ 336,998	
基本金組入 基合 額計		△ 656,850	△ 327,991	△ 328,859	
当年度収支差額		△ 654,450	11,407	△ 665,857	
前年度繰越収支差額		△ 9,789,410	△ 9,789,410	0	
基本金取崩額		0	16,000	△ 16,000	
翌年度繰越収支差額		△ 10,443,860	△ 9,762,003	△ 681,857	

事業活動収入計	6,660,270	6,928,616	△ 268,346
事業活動支出計	6,657,870	6,589,218	68,652

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

【その他の特別収入】

大科目「その他の特別収入」の内訳である小科目「現物寄付」17百万円は、寄贈物品を金額に換算して計上したものであり、主なものは、教員からの科研費等で購入した備品、父母会からの冷水器、高等学校卒業生からの電子黒板等の寄贈である。

【資産処分差額】

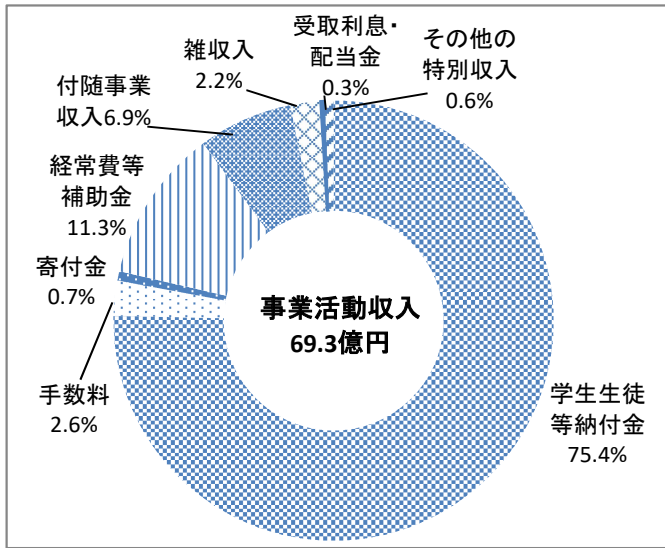
教育研究用機器備品などの除却による処分差額である。

【基本金組入額】

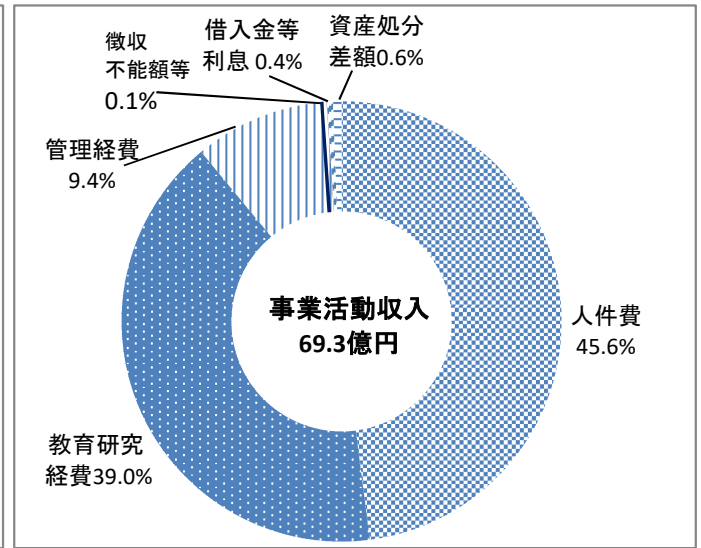
①第1号基本金：施設設備の整備拡充のために要した金額であり、平成28年度は3億28百万円を組み入れた。

②第4号基本金：恒常的な資金の維持のための基本金であり、前年度決算額の教育活動収支の退職金等を除いた人件費、減価償却費を除いた教育研究経費及び管理経費、教育活動外収支の借入金等利息の合計を12で割った額(1月分の相当)を設定することとなっている。なお、特例が適用されない平成28年度においては、上述の計算額を保持すべき金額とし、差額となる16百万円を取り崩している。

事業活動収入の構成比率



事業活動収入に対する事業活動支出の構成比率



《事業活動収入決算額及び構成比率》

(単位:千円)

科目	決算額	構成比率
学生生徒等納付金	5,221,498	75.4%
手数料	177,050	2.6%
寄付金	47,600	0.7%
経常費等補助金	781,703	11.3%
付随事業収入	481,612	6.9%
雑収入	151,844	2.2%
受取利息・配当金	22,947	0.3%
その他の教育活動外収入	0	0.0%
資産売却差額	0	0.0%
その他の特別収入	44,362	0.6%
事業活動収入計	6,928,616	100%

《事業活動支出決算額及び事業活動収入に対する構成比率》

(単位:千円)

科目	決算額	構成比率
人件費	3,158,760	45.6%
教育研究経費	2,706,181	39.0%
管理経費	653,509	9.4%
徴収不能額等	1,909	0.1%
借入金等利息	28,913	0.4%
その他の教育活動外支出	0	0.0%
資産処分差額	39,946	0.6%
その他の特別支出	0	0.0%
事業活動支出計	6,589,218	95.1%

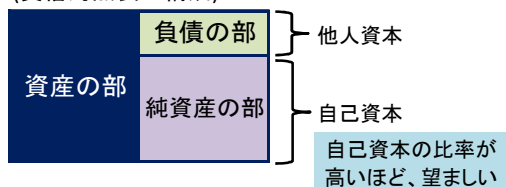
(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

3. 貸借対照表

■貸借対照表の解説

当該会計年度末(平成29年3月31日現在)における学校法人の財政状態を明らかにすることを目的としたものである。資産の部は土地や建物などの有形固定資産、退職給与引当特定資産などの特定資産、現預金などの流動資産など、資金の運用形態を表し、負債の部及び純資産の部は、長期借入金などの固定負債、基本金など、資産の調達源泉を表す。財政基盤の安定性を把握することができる最も概括的で重要な指標は「純資産構成比率」であり、当該比率が高いほど、総資産に対する自己資金率が高く、財政状態が安定しているといえる。

(貸借対照表の構成)



(純資産構成比率計算式)

$$\text{純資産構成比率} = \frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$$

■本学の概況

平成28年度における純資産構成比率は82.9%で、全国平均(平成27年度値)87.5%よりも低い水準である。一方、資産の構成については、現金預金等の現金化が可能な資産の保有状況を評価する「流動資産構成比率」は15.0%で、全国平均13.5%よりも高い水準であるが、長期にわたって特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況を評価する「特定資産構成比率」は14.9%で、全国平均21.3%よりも低い水準である。

〔資産の部〕

(単位:千円)

科目	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	増減
1 固定資産	24,191,483	24,191,675	△192
有形固定資産	19,777,477	20,376,043	△598,566
特定資産	4,245,077	3,681,891	563,186
その他の固定資産	168,929	133,741	35,188
2 流動資産	4,264,742	4,025,996	238,746
3 資産の部合計	28,456,225	28,217,671	238,554

〔負債の部〕

科目	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	増減
4 固定負債	3,141,138	3,227,283	△86,145
5 流動負債	1,735,144	1,749,844	△14,700
6 負債の部合計	4,876,282	4,977,127	△100,845

〔純資産の部〕

科目	平成28年度 決算額	平成27年度 決算額	増減
7 基本金	33,341,945	33,029,954	311,991
第1号基本金	32,905,945	32,577,954	327,991
第4号基本金	436,000	452,000	△16,000
8 繰越収支差額	△9,762,002	△9,789,410	27,408
9 純資産の部合計	23,579,943	23,240,544	339,399

10 負債及び純資産の部合計	28,456,225	28,217,671	238,554
----------------	------------	------------	---------

(注) 金額は千円未満を四捨五入したものである。

4. 財産目録

平成28年度末の資産総額284億56百万円には、土地、建物、構築物及び備品等の基本財産197億77百万円と各種の特定資産等の運用財産86億79百万円が含まれている。この資産総額から、長期借入金及び退職給与引当金等の負債総額48億76百万円を差し引いた235億80百万円が正味財産である。